

基本方針1 健康づくりと介護予防の推進 (健康寿命の延伸)

基本施策項目 1－2
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み推進

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
第1号被保険者のうち、 要介護2以上の方の割合 (%)	9.6	9.1
通いの場に専門職を 派遣する回数(回)	418	470

基本施策項目 2－1
フレイル対策・介護予防の推進

	指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
①	なごやか寄り合い 実施会場数(か所)	360	370
②	通所型サービスBの 実施会場数(か所)	29	60

R6年度の取り組み内容、課題、今後の取り組み方針

要介護認定情報や医療費分析により、高齢者の健康課題を整理し、関係団体・機関と連携しながら、取り組みを進めている。
「なごやか寄り合い」*1や自主グループ活動等には、保健師やリハビリテーション専門職の派遣を行い、運動・栄養・口腔・社会参加に関する健康教育等を実施した。
今後もフレイル予防や生活習慣病の重症化予防等の健康教育・相談を行っていくとともに、関係団体・機関と連携し、フレイル測定会等を行い、高齢者ご自身の気づきを促しながら、適切な支援に早期につながる取り組みを推進する。

*1 各地区の公民館や集会所などで開催する高齢者の通いの場

- ①新規立ち上げを検討している団体への支援を行い、新たに6会場が開設された。また、なごやか寄り合い世話人に向け研修会を行うなど、事業の継続や、休止中となっている会場の再開に向けた支援を行った。
- ②生活支援コーディネーターや地域包括支援センターを中心に立ち上げ支援を行い、6団体の新規登録に至った。

高齢者が身近な通いの場で、自分の役割や生きがいを見出し、社会参加の意欲を高めることができるよう、引き続き、新規立ち上げの支援や参加者増に向けた啓発活動を進める。

基本方針 2 多様なニーズに対応した介護サービスの提供

基本施策項目 5 - 3 多職種連携による生活支援

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
多職種連携会議 開催か所数(か所)	8	8

基本施策項目 6 - 1 給付適正化の推進

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
給付適正化 (ケアマネジャー) 研修会参加人数(人/1回)	137	150

基本施策項目 7 - 4 高齢者虐待防止の取組み推進

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
高齢者虐待防止研修会 参加事業所数(か所)	73	100

R6年度の取組み内容、課題、今後の取組み方針

多職種連携会議では、地域住民と地域の医療・介護関係者が連携して、災害への備え等の新たな課題も踏まえた地域課題の共有や、解決に向けた具体的な取組みの支援をした。令和6年度は、既存の1か所（松東エリア）が会議のあり方について見直しを行い、また、新たに2か所（松南エリア、中央エリア）の立ち上げ支援を行った。引き続き、会議で挙げられた地域課題に応じた支援を進める。

居宅介護支援事業所を対象とした給付適正化研修会については、ケアプラン点検の結果報告や自立支援介護をテーマとした研修を令和7年1月末に開催したところ、多くのケアマネジャーに参加いただいた。

虐待の早期発見・解決につなげるため、介護サービス事業所職員を対象に虐待防止に関する研修会を開催した。また、虐待行為が疑われるケースへの早期介入に努め、行政による指導やサービス利用につなげるなど、本人や養護者に対する支援を進めている。高齢者虐待については、相談件数が増加し、また複雑化していることから、引き続き多分野の関係機関との連携強化を図るほか、虐待に関する知識・理解の普及啓発や相談窓口の周知に努める。

基本方針 3 認知症施策の推進

基本施策項目 9 – 1 本人・家族への支援

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
認知症カフェの設置数 (か所)	9	10

基本施策項目 9 – 3 普及啓発・予防

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
認知症サポーター 養成講座受講者数 (人:累計)	24,903 (うち令和6年度901人)	27,000

R6年度の取り組み内容、課題、今後の取り組み方針

9月のアルツハイマー月間において、松江市立図書館での関連図書等の展示、松江駅等での街頭活動を行い、相談窓口の周知を含めた認知症に関する普及啓発を実施した。

令和5年6月より、認知症の方の社会参加や本人発信の場として「本人さんカフェ」を開設し、令和6年度は延べ65人が参加、市主催のまつえオレンジカフェは、延べ120人が参加した。

今後も本人や家族の支援のため、「認知症の人と家族の会」や地域包括支援センターと連携し、市主催の認知症カフェを継続して開催するとともに、市内認知症カフェの再開や立ち上げ支援に努める。

認知症サポーター*1を増やすため、学校、企業等で養成講座を開催し（令和6年3月末時点で計42回）、24,903人が参加した。また、新たな取り組みとして、認知症月間において、市主催の認知症サポーター養成講座を開催し、12人の参加があった。令和7年3月には、認知症に対する知識を深めることを目的に、認知症サポーター向けのステップアップ講座も行っている。

今後も、企業や小・中学校・高校等若年世代への養成講座の開催に向けて関係機関への働きかけを推進する。

*1 認知症について正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で手助けする応援者

基本方針 4 介護人材の確保

基本施策項目 10－1

介護業界のイメージアップに向けた情報発信

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
「介護の出前授業*1」の 実施中学校数(校)	8	14

基本施策項目 10－2

多様な人材の参入促進

指標名	令和6年度 実績値	令和8年度 目標値
松江市総合事業訪問型サービスA 従業者養成研修*2受講者数(人)	9 第1回目7名 第2回目2名	20

R6年度の取組み内容、課題、今後の取組み方針

.....

介護の出前授業について、令和6年度は未実施校へ訪問し、事業説明を行う等、実施校数アップを図った。
令和6年度は令和5年度より2校増の8校で実施。
今後は、内容の見直しや未実施校へのアプローチ等を行っていく。

*1 現場の最前線で働く介護職員を「コンシェルジュ」として派遣し、オリジナルの教材を活用した講義や車いす体験等を行う出前授業。

訪問型サービスA従事者養成研修について、令和6年度実績は年2回開催で9名であった。
令和6年度は、SNS等の活用により積極的な周知を図った。
令和7年度は令和6年度同様、10月と3月に2回開催を予定しており、引き続きSNS等により周知を行い、受講者の増加を図ることで、介護事業所の人材確保につなげていく。

*2 松江市総合事業訪問型サービスA（身体介護を含まない掃除・食事の準備等の在宅サービス）に従事するために必要な知識や技能を習得する研修